

2024年(令和6年)度、くすのき未来塾は下記の3回を実施しました。第15回目と16回目は従来通りの対面講義でしたが、第14回目は作業実習を伴うので募集人数をしぼり、かつ多くの方からの申し込みをいただいたので、参加者を抽選せざるを得ない状況でした。以下、簡単に実施講座の概略を紹介します。

第14回 10月26日(土)

「化石を探してみよう！」

講師：西川 正己 氏

(東松山市化石と自然の体験館 講師)

本講座初の体験実習を伴う講座ということで、申込者は160人を超えましたが、実習材料の準備の関係で定員を20人にして参加者を抽選しました。いつもは1割前後いる当日欠席者は「0」でした。



比企郡の地層と化石に関する講義の後、体育館脇の1階通路に移動して、東松山化石と自然の体験館付近から採掘した土砂を、篩(ふるい)にかけて化石を探す実習を行いました。保護者も一緒になって作業し、化石と思われるものが出ると講師の先生に鑑定していただきます。結果としてアオザメやオオワニザメ、メジロザメの歯をはじめ、全部で32個の化石を探し出すことができました。中には1人で4個の化石を発見した人もいて、参加者はたいへん満足できる講座でした。

第15回 12月8日(土)

「弁護士ってどんな仕事？」

講師：戸部 秀明 氏

(深澤綜合法律事務所パートナー)

当日受講者41人という、文科系的な講座では最も多い参加者となりました。講義は三権分立という国の仕組みの持つ意味から始まり、その中での弁護士の仕事につ



いて、それが社会でどういう意味を持っているのか、裁判の種類や進め方なども含めて解説されました。弁護士が付けるバッジが示され、ひまわりの花卉は太陽に顔を向けることから自由と正義を示し、中央に描かれた天秤は公平、平等を示すなど、弁護士の目指すものがデザインされていることなどを説明していただきました。裁判以外の弁護士の仕事や、弁護士になるための道筋なども話していただきました。やや難しい言葉は丁寧に説明していただき、参加者からの質問も多数あり、保護者も含めて受講者にはたいへん満足できる講座でした。

第16回 3月8日(土)

「地球温暖化は、どうしたら防げるか？」

講師：花岡 達也 氏

(国立環境研究所 地球持続性統合評価研究室室長)

今日の世界が抱える問題をテーマとした講座です。平均気温が世界で、そして日本でどのくらい上がっているのか、CO₂がなぜその大きな要因の一つとされるのか、地球上のCO₂を増やさないためにどうしたらいいの

か、そして「カーボンニュートラル」の考え方などを、図やグラフを使って説明していただきました。参加者の3/4が4年生でしたが、「カーボンニュートラル」の言葉をほとんどの子どもが知っていて、参加者の意識の高さを感じました。講義にあたってはクイズ形式で発問するなど、参加した子どもたちとやり取りしながら講義を進めたこともあり、子どもたちはもちろん、保護者にも興味深い講座になりました。ほとんどの対策をとらないで進んだ75年後のシミュレーションは恐ろしいものでした。

当日受講者は31人でした。

